「愛知用水概要図　木曽川総合開発の一翼」３（資料 No.488）：
1953（昭和 28）年 3 月ごろか

赤青黒 3 色の石版印刷で、「愛知用水概要図　木曽川総合開発の一翼」１、２に比して、より現愛知用水計画に近いかたちとなっている。

タイトルは同様だが、記載されている事項は事業の諸元的に記載に集約され、木曽川下流域での洪水調整は削除されている。国等への交渉、事業が現実味を帯びてくるなかで、より現実的の計画へと練られてきたことがわかる。

また、総事業費を 228 億円としているが、これは 1953（昭和 28）年 3 月に農林省がまとめた総事業と同額であり、このころに作成された概要書と思われる。

王滝川では、二子持貯水池が計画されている。また支線水路では三好支線と推測できる分水が記載され、同支線から日進・東郷方面へ分水する計画であった。曲り池の文字も見られる。